

啓介いろは歌

その16



今井啓介
(今井パール株式会社)

「ユーロ通貨いろは道歌」

イギリスとギリシアデンマークスウェーデン
暫く様子を見てから参加
論陣をはって経済 語れども
未来のことは 歴史が証す

恥を知れ 借金繁栄 ドルマネー
欧州立腹 拳を上げた
人間の 至上主義から 脱自然
唯物思想じゃ 地球あやうし

保護制度 もやしの弱さよ 今日日本
一時はそれが 繁栄の華去
ヘッジする 損失防止の両掛は
ユダヤ民族 千歳の智慧か

ドルユーロ 真の国際 通貨とか
金貨銀貨と 纏めは円か?
緻密さをもってかれよ 将来に
点・線・面から 宇宙地図で

両替の コスト節約 意味もあり
為替投機に ゼロサムゲーム
ぬかりなし 国際的地位 対等に
たれ流し弗に 負けない態勢

(ユーロも) 留守四ヶ国 イギリスや
スウェーデンギリシア そしてデンマーク
おかしいぞ 円の強さは どこにある
まああるくまあるく エンドレスなり

判るかな マーストリヒト 条約は
コールとミッテラン (独) 統一の条件
金回り 貿易脱税の 生産制
欧州拠点の 統括活きるか

ヨーロッパ 付いた名前が ユーロで
勝手気儘と 誰が言うらう
誕生で グローバリゼーション 一挙に進み
社保負担増 ドイツは苦悩

連合は 欧州纏めて EUと
行政執行 委員がしつかり
それ本当 統合発想 ダンテなり
帝政論から 神曲組曲

つからう 調達資金の 大型化
起債の増加 義務や権利や
根を上げる 世界経済 肥大化に
どこで纏める 落としどころは

何もせぬ 無策でもなし 無用の用
必ず好転 自然流通
ラッキョウは 一皮一皮むくがよい
その楽しみは 猿に聞く由

むこ 養子 出来損ないの 息子より
娘が居るなら お慰安泰
繕しさは 顔や態度に 表れる
大国自信と 積善徳国

E・C・B ユーロエリアの 物価指数と
調整指標と 円滑安定
のさばりを E・S・C・B 救せない
国際戦力 ユーロで対抗

大きさは 米国の 市場なり
アジアを 睨んで 欧州まとまる
グローバル ユーロ誕生 競い合い
欧州企業は 業務を集約

山登り 人国主 似たものよ
一步一步を 注意と決断
間に合うか そんなことより 第一義
今日の務めに 今を大切

経済や 通貨統合 ヨーロッパ
政治の意志が 二度の大戦
プラスあり 問題もある 欧中銀
各国財政 安定協議を

国債・株 トラベライズを ユーロで
ひとまずスタート 走りつ考え
円・ユーロドルに 対して 弾力性
為替レート を 学んで教訓

手に負えぬ 子供わらべも 年を経て
経験豊かに 生長するもの
アメリカに (弗) 匹敵するぞ ユーロは
金融資本や 市場の未来

さてこれは アムステルダム 条件は
租税基準の 南北統一
金利安 物価安定 為替まで
節度の財政ドルに 対して

ユーロと 円ドル間の ボラティリティ
安定目指すが 果してどうなる
目には目を 歯には歯の世は 過去のこと
世界の融和を グローバリズムで

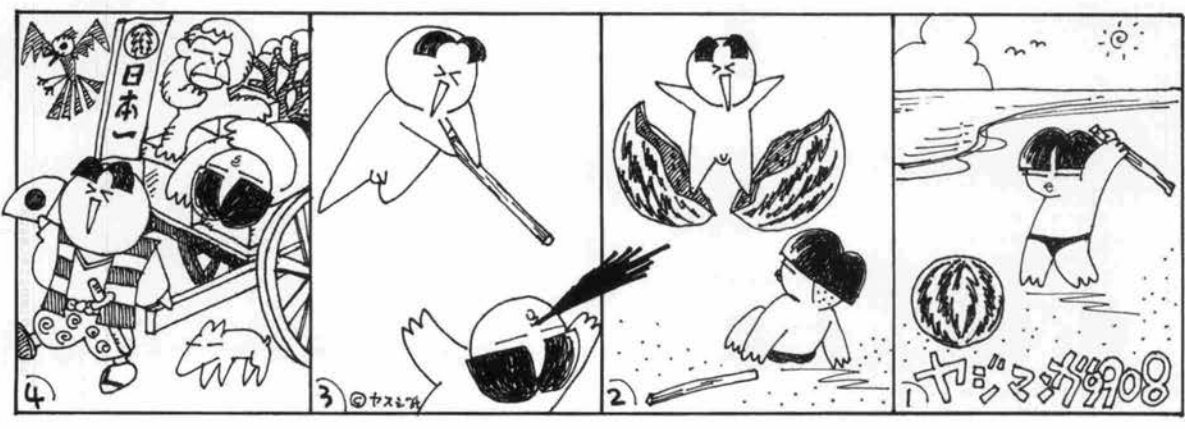
見た儘の 世界経済 自由化を
通貨圏から 創出の道
新通貨 国際世論の 金融よ
貿易システム ユーロ旗揚げ

英国の BBA に 頭固あり
金利の指標は ここから発信
非現金 ユーロ通貨は 紙幣まだ
各国換算 永久固定か

森興こし 一本の木に 愛を込め
これから自然を 精す決意を
税抑え 企業誘致を 国策し
立地と戦略 全て統一

隅々に 配達の出来る 人類を
世界に求め 我が国まとして
運試し 失敗しても 後戻り
原点復帰 一から出直せ

E・S・C・B...欧州中央銀行制度 E・C・B...欧州中央銀行 (欧中銀) ボラティリティ...通貨変動中 BBA...イギリス銀行協会



TOR-ROAD まちづくり (32)

トアロードの魅力を一冊に

TORROAD STYLE BOOK 「トアロード スタイルブック」発行



「トアロード」とタイトルにあるだけで、もうおしゃれなイメージを抱かせてしまいう街は全国でも少ないのではないだろうか。

「TOR ROAD STYLE BOOK」は海岸通に事務所（Wアソシエイツ）を構える水田裕子さん、トアロードの中西悠花さんらが中心となって制作した。昨年四月、「トアロードのコスモポリタンな魅力」をせめて記録として残したい」「一人でも多くの人にトアロードに興味をもってもらいたい」という願いを込めて、まちづくりコーポレーションが制作に踏み切ったもので、七月初旬より各書店で発売されている。

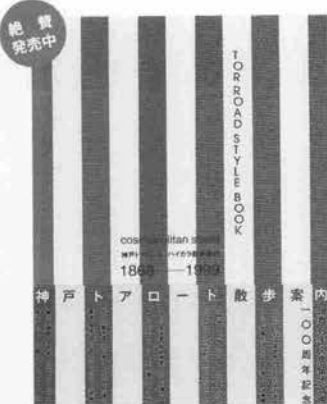
企画・編集を担当した水田さんは昭



編集スタッフとして街を駆けた中西悠花さん。「地元の人々のトアロードへの愛情を感じて下さい」

和四十一年ファミリアの企画宣伝部に入社し、ファミリア、そしてトアロードから「神戸趣味」と「インターナショナルな感覚」を学んだのだという。この本を読むと、きっと、神戸にはそんな人たちがたくさんいたに違いないと思わされる。稲垣足穂ら多くの文人に愛されたトアロード、神戸外国倶楽部、ジャズの発祥、華僑の人々…そんな開港以来の歴史をひもときながら、沿道の店々の歴史やトアウエストに新風を巻き込んだ若きオーナーのインタビュー、おしゃれなカフェ、バーなどを紹介している。

「ただし流行のお店紹介じゃなく、『トアロードらしさ』が一目で確認できる匂いたつようなガイドブックを」の心遣いが隅々まで行き渡り、トアロードのスピリッツが好きなら年齢を越えて楽しめる本になっている。トアロード、美しいデザイン、「神戸趣味」を愛する人にぜひ読んでほしい。



「TORROAD STYLEBOOK」 定価1500円
176頁 神戸新聞総合出版センター発行

★トアロードらしさって何だろう

水田裕子さんの想い

「TOR ROAD STYLE BOOK・あかき」
より一部抜粋。

「エレガントとノンシャランのミックスマッチな「神戸趣味」が、空気として、この昔からエレガントに香り立っていた」のがトアロードの街。この街では本物の宝石もプラスチックのブローチだって同時に身につけるし、そしてそれが十分に美しいのは、それが自分の磨き抜かれたセンスだから。「ハイカラとは数奇の美意識、あるいは超普遍主義」

エスターニュートン、AVON、CROSS、マキシンの帽子、デリカテッセンのスムージーサモン…。昔も今もトアロードは自分のセンスを鍛えてくれる、存在感のある街。若い人たちに、たとえ買わなかったとしても入ってみてほしいお店がいっぱいある。取りたてて有名な店だけでなく、そこでチョイスされたもの、磨き抜かれたセンスみ

なものを感じとってほしいんです。もちろん今からトアロードにお店を出すという人たちにも。

あと、本の中ではメインストリートを横切る、生活感にあふれた何本もの路地の魅力についても触れています。「上海耳そうじ」の話とか「河原町商店街」はどうして河原町なの？とか、そこにあるくつ直し屋さんとか…。エレガントさだけじゃなく、ちよつとアヤシ気な部分もあるからトアロードはいつそう神戸らしいんですよね。お店もたくさん紹介してTORROADの達人になれる手助けをしています。

でも、「後は自分の目と第六感で…」トアロードにきたら、自分のセンスに自身をもって。

■お問い合わせ
表トアロードまちづくり
コーポレーション
TEL 078・393・1371
FAX 078・393・1372

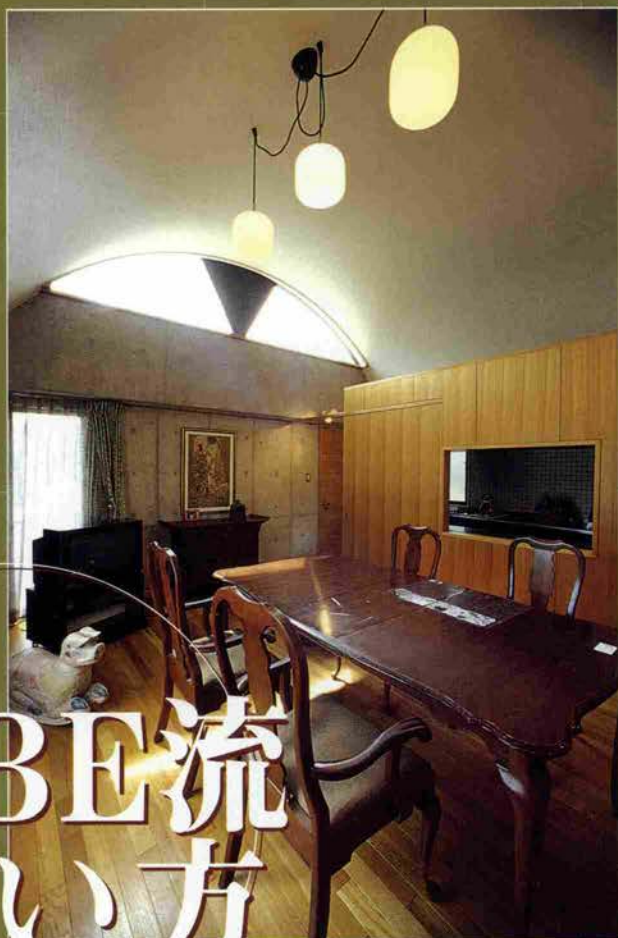


個人用
小型雲の
使いかた



■最新住宅情報
オーキッドコート
ジークレフ六甲の丘
HDCリフォームセンター
兵庫県住宅供給公社
神戸市住宅供給公社

住まい手が主役
瀬戸本 淳



KOBE流 住まい方

店と住まいと
山形平八郎邸

大地へのこだわり
有馬啓子邸



住吉川のほとりに、新しい都市邸宅 オーキッドコート

「オーキッドコート」は高貴なる蘭を冠し、その
気品と優雅さをイメージさせる都市邸宅の名称。
21世紀へ向けて、新しい都市生活様式として…。



住吉川のほとりに華麗に佇むオーキッドコート。左より溪西館、左峯館、右峯館、湖南館

巨匠C・ムーアが 思い描いた街

住吉川の豊かな自然と六甲の山並みを背景に、繊細なフォルムで佇むオーキッドコート。約35000㎡に及ぶ広大な敷地のなか、一つの美しい街として絶対的な存在感を誇ることは、米国建築界の巨匠チャールズ・W・ムーアがデザインしたことで知られる。ムーアが思い描いたのは、由緒ある屋敷町の景観を受け継ぎながらこの地の持つ「六甲の山並み、神戸の都市性、瀬戸内の海」を敷地全体でダイナミックに表現すること。

訪れる人を最初に出迎えるのは、優美な楕円形のエントリ・ガーデン。格調高い御影石の回廊が楕円形の中庭を囲み、メインロビーへはこの回廊を経てアプローチ。

また庭園には、清流や滝が配され、潤いのある住環境を作り出している。オーナー（この地に暮らしを持つ人は、すべての権利を有するオーナーと呼ばれる）のためにベンチが設置され、水をテーマ

としたガーデンが存分に愉しめるような配慮ある設計。春にはスズランやすみれ、夏にはハナショウブやナルコユリ、秋にはヤマモミジ…といった四季彩りの豊かな風景が小川のほとりで展開される。

独自のヒューマン・サポート

忘れてはならないのがここでの管理の質の高さ。それはゼネラルマネージャーを筆頭に、オーキッドコートの専任スタッフの手（ソフト）を介し、オーナー家族のためのきめ細やかなライフサービスをを行い、またテクノロジー（ハード）を駆使しオーキッドコートを24時間見守るセキュリティサービスをこなすことを意味する。



24時間対応のメインフロント・ロビーは優雅な空間を創造する
高さ8mのガラス越しに見えるのがセンターコート



右峯館922号室リビング（モデルルーム）



写真は中央口センターコート、左が左峯館、右が右峯館

例えば、ロビーではボーイが出迎え、荷物を住戸まで運んでくれる。留守時に来訪者があればその旨のメッセージを伝えてくれ、タクシーの予約、設備機器の故障の修理、ハウスクリーニング、ゴミ収集…と徹底したサービスを提供。

しかも、通信・情報機能をはじめとするセキュリティには、独自のインテリジェントマンションシステムを導入。24時間各邸とフロントを直結し、防災や非常警報に関する安心感はもちろん、浴室、トイレにはコイルボタンを設定。温かく、そしてさりげなく…。オーナー達の豊かな暮らしを実現するあらゆるサポートが行き届いている。

オーナーの日常を彩るのは

右峯館1Fのクラブハウス「蘭倶楽部」は、優雅さを象徴するエンターテイメントステージ。西欧の社交倶楽部を彷彿とさせるようなラウンジやコンサートホール、ゲストへのおもてなし、テイクアウト、ホームパーティなどの集いや催しに、オーナーのためのもうひとつのリビングルームとして活用できる。

左峯館1Fには、フィットネス空間「バイオスフィア」がある。ここには、温水プールをはじめエクササイズスタ



ジオ、マシニングジム、傾斜面練習台を採用したゴルフレンジなどが揃い、サウナ、ジェットバスがレイアウトされたロウカールームとともに、オーナーたちと同伴のゲストのみが気軽にリラクゼーションやボディコンディショニングを愉しむことが可能になっている。

成熟した住環境

オーキッドコートのある住吉界隈は、明治から大正にかけて住友本家をはじめ政財界の知名の士が競って邸宅を構え、阪神間の屋敷町の原形となったことと有名。深緑や紅葉を映す六甲山系を背景とした緩やかな南傾斜地、瀬戸内海を望む眺望。そして山から海へ流れ行く住吉川など豊かな自然環境に包まれ、屋敷町の歴史や伝統の香り、市街地としての利便性はもちろん、各



（写真上）「バイオスフィア」ではエアロビクス、健康体操教室などの定期レッスンも開催
（写真下）クラブハウス「蘭倶楽部」は西欧の社交倶楽部を彷彿とさせる



Orchid Court

オーキッドコート
レセプションオフィス
（販売センター）

神戸市東灘区西岡本2-7-3

☎0120-061-031

TEL.078-453-8831

10時～17時 水曜休

お盆期間中も通常通り営業

種学校、白鶴美術館など文教施設も多数存在することここを選ぶ大切なポイントとなる。
そんな阪神間のなかでも「住み吉し」といわれた地に、申し分ないメンバーシップで形成された「華麗で品位ある居住空間」。
ここでの暮らしは、時代を超えて住み継がれる社会的な資産となり、オーナー家庭には、今までにない大らかさに満ちた暮らしを約束するだろう。

特集①

KOBE流 住まい方

大地へのこだわり

有馬 啓子邸

(東灘区森北町)

設計／橋本修英(株式会社アーキテック)



上) 豊かな緑はやすらぎを与えてくれる
下) 家族が集まるダイニングルーム



美しい緑に囲まれた有馬邸

「地からのオーラを吸収できるすまいに」というのが有馬邸のこだわり。「木と土は、人間の身体にとってもいいんです。木と土からの大地のオーラを、はねかえしてしまうようなビニール等の素材は一切使わず、建物は木材をふんだんに使って、あとは家族の生活スタイルをよく知っていらつしやる橋本修英先生に、すべて設計をお任せしました」

有馬さんのご家族は、ご夫婦

と2人の息子さんの4人。主婦である啓子さんがお仕事のため日中は家にいないため、寝室と台所と洗濯室を近くに配置。洋画鑑賞が趣味の啓子さんのゼいたくは、家事をしながらテレビが観られるように配置された台所のテレビ。有馬さんのもうひとつのこだわりは壁の色。「前に泊ったホテルの壁の色がこの色で、とてもいいなと思って。わざわざ橋本先生に色を見てもらいに行っただけです」というほど。ただの白ではなく、少しピンクがかっていて、照明や角度によっても微妙に印象がちがう。「この色の壁の前に立つと、女の人キレイに見えるみたい(笑)」。それになぜか落ち着くんです」と啓子さん。設計の橋本先生によると、この不思議な色は「御影石の色」なのだとか。「神戸の砂浜の色が御影石の色と同じでピンクがかった白。神戸で生まれ育った啓子さんが小さい頃から見慣れていて、だから落ち着くのかもしれません」



特集②

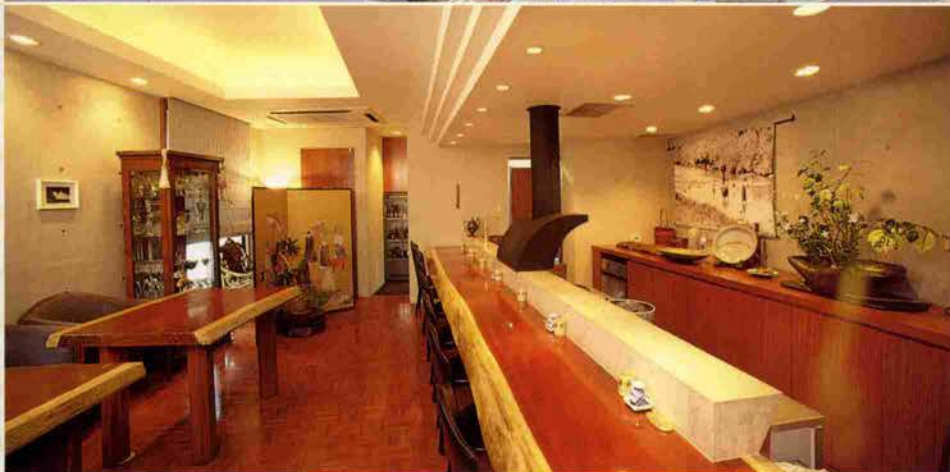
KOBE流 住まい方

店とすまいと

山形平八郎邸

(東灘区岡本)

設計／古田義弘〈株式会社アトリエフルタ建築研究所〉



上) 丸いフォルムが個性的

下) メーザエスタシオン。和と洋がミックスされた店内にアンティークの品が並ぶ

打ちつばなしのコンクリート、丸いフォルムの外観が目をつひく山形邸。平八郎さんみずからが腕をふるう天ぷら屋さん「メーザ・エスタシオン」も住居の一部で、二階がすまいのスペースになる。この住居兼店舗は「自分たちが暮らしやすい」に重点をおいている。「うちはまだ未完成の家なんです」と山形さん。現在は山形さん夫婦と、息子さん二人の四大家族だが、お子さ



山形平八郎さんの趣味の広さが家に、店にあらわれている

んが独立して、夫婦二人きりになったときのことを考えて設計してもらった。のちのちの夫婦での生活を快適に過ごせるようにと、今は四つに区切られたそれぞれの個室も、いずれ区切りをはずして大きな一つの部屋にするのだという。山形家が「完成」するのは夫婦水入らずになつてから、ということなのだ。店と住居を併せているのも、疲れたときでもすぐ休めるように、また、いつでもお客さんを迎え入れられるようにするためという。

山形家でひととき目をひくのは、骨董品、アンティークの類。リビングにも、店内にも外国からの家具や小物が置かれている。ただ飾っているだけではなく、生活の中に活用するのが山形家流。店に並ぶ貴重なアンティークのグラスも、お客様に実際に使っていたいているのだそう。好きなものを並べているだけ、という山形さんだが、それが山形家独特の空気を作り出している。



リビングには窓がいくつもあってたくさんの光が射し込む

住んでこそ実感できる素晴らしさがここにある ジークレフ六甲の丘

まさに神戸らしい海と山をたたえた六甲の地にその“芸術作品”は在った。世界的にも著名で熱烈なファンも数多い建築家、安藤忠雄。ただ建物を設計するだけでなく、彼の生み出す建築物はまさに芸術作品と呼ぶにふさわしいもの。この「ジークレフ六甲の丘」も一目見るだけで、安藤忠雄氏の手に掛かった作品であることがうなづける。

(文／前田樹美子 写真／米田英男)

緑との共生

打ちつばなしのコンクリートの壁面は無機質な感覚を与えるが、シンブルな外観だからこそ、植栽が見事に生きている。近年の安藤氏のテーマである「緑との共生」を実感する建物だ。例えば、屋上にも緑を配し庭園を設け、高層部分から見下ろした眺めは空中に現れたオアシスのようでもある。中庭に出てみると生え揃った芝生とアイビーの中に白木運やくすのきなどの常緑樹が軽やかな空間の流れを作り出している。また、壁と壁の間に沈み込んだサ



屋上庭園の緑の向こうに街と海が広がるパノラマビュー

ンクンガーデンと呼ばれる個性的な傾斜地の庭が設けてある。ここに生え広がるアイビーはそのものだけでも美しいが、夕陽が緑をより鮮やかに映し出し、コンクリートの壁面には緑が染み込み、何ともいえない黄昏の情景を作り出してくれる。エントランスに立つて各階の吹き抜け部分を見上げると、そこにアイビーの緑がさわやかに浮かんでいる。とにかくほんの少し歩けば、どこからか緑が目飛び込み、風が優しく吹き抜けていく。安藤氏の目指した緑との共生のなかに身を置いていることがあらゆる場所で納得できる。特にユニークなのは駐車場。どこにあるのかと思えば緑の下にスペースをとっている。全住戸174戸分が確保されているのにほとんど外からは車の影が見えないようになっていた。

神戸のロケーションを満喫

神戸といえば山と海。高台に立地しているため、海側のビューデッキに立てば視界は180度、湾岸の風景がどこまでも広がる。淡路島から美しく弧を描く大阪



美しく弧を描く空中廊下(上)
吹き抜け部分が印象的なエントランス(右)
サンクンガーデンが創り出す独特な空間(左)



湾、夜ともなれば美しくきらめく宝石をちりばめたような100万ドルの夜景のなかに身をゆだねる心地よさに全身が包みこまれる。まさに爽快のひとことに尽きる。

北には六甲連山が雄大な稜線を描いている。この風景を贅沢に満喫できるのが室内プール。天井まで高く取ったガラス越しにまさに絵画のように六甲の山々を眺めることができる。プール横にはジャグジーとサウナ、そしてプールの階上にはフィットネスジムがあり、自然を愛でながら、休息し、汗を流すことができる。このジムの中にはいつでも快適な生活を送っていたために、加齢者の方が車椅子のまま



六甲連山を眺める開放感にあふれた室内プール



光を多く採り入れた広く明るいリビングルーム

でも便利なことはこの上ない。また、神戸は坂の街とも言われるように、健康のために坂道を歩き、まわりの自然を肌で感じ、一歩一歩変化する眺望を楽しむことも時には良いのではないだろうか。まわりには神戸大学、神戸松蔭女子学院、六甲学院などの有名校が隣接する神戸有数の文教地区であり、環境面でも整っている。

ここに住まう人々は、自然を生活の中に無理なく取り入れ、存分に自然を満喫できるように作り上げられた安藤氏の設計の巧みさの中に、本当に豊かな

住むほどに豊かな暮らしを実感

入室でき、介助者とともに入浴ができるバリアフリー浴室が設けてある。

高台にあることで交通の便が気になるところだが、歩いて4分ほどのところに六甲台南口のバス停があり、そこから10分ほどでJR六甲道駅まで着いてしまう。また、阪急六甲、阪神御影も経由しているの、車がなく

芸術作品の中に住むステイタス

ラビリンスに迷い込んだような建物の構造は、安藤氏の細部にまでこだわった妥協を許さない設計への情熱が具象化されたものに他ならない。考え尽くされた造形美、幾何学模様とシンメトリの織り成す美しさ、緑との共生。安藤氏の仕掛けは十分すぎるほど私たちを興奮させてくれる。その複雑さは正反対に住戸内部に入ると、極めてシンプルな作りにまたもや意表を突かれる。これもまさに安藤氏の仕掛けな



な暮らしを見出し、住むほどにこの「芸術作品」の素晴らしさを実感することができよう。

のである。外観は器としてのおもしろさを十分に堪能できる形に仕上げたので、あとは、そこに住む人たちがそれぞれの個性を生かし、ライフスタイルを楽しんでほしいと、住む者の住居への情熱、感性に問いかけているようだ。

安藤作品の中に住むというステイタス、こちらの持っている感性を十分に実現できるステイジ、チャンスがここ「ジークレフ六甲の丘」には確かにあることを感じる。



「ジークレフ六甲の丘」販売センター

神戸市灘区篠原伯母山町2-3-1

TEL.078-882-4165

10時～17時（無休）

※8月中の金・土・日は21時まで

神戸流住まい方Ⅱリモデリングのお勧め。

問われる住まいとのつきあい方

日本の住宅の平均寿命は二十六年。これに対しアメリカは九十四年、イギリスは百四十年だそうです。(※)

イギリスでは、築百年以内の家は「ニューハウス」、百年以上経って初めて「オールドハウス」と呼ばれます。またパリの都心の住宅平均年齢は百三十年とも言われています。頑丈な構造体をしっかりとつくり、技術の進歩や生活の変化にあわせて内装を替えたり、エレベーターやトイレ、バスなどの設備を取り替えグレードアップしたりするのがです。

家を長持ちさせることは「住む人の経済的負担を軽くする」だけでなく、廃棄物を減らし「地球環境の負担を軽くする」ことにもつながります。とりわけ震災で、住み慣れた思い出深い住まいを失った経験を持つ私たち神戸の人間にとっては、安易に建て替えが行われる日本の住宅の現状は考えがなければならないことだと思えます。

(※) 国連資料等をもとに建設省が作成

リフォームが得意だった日本の住まい

昔から日本の建物寿命は短かったわけではありませぬ。法隆寺を例に出すまでもなく、

地方に行けば百年以上の建物は珍しくありません。実は木造の住宅は随分長持ちするものなのです。そして日本の家は、畳や襖、障子などリフォームに適した建材で構成されており、構造は活かしながら内部をリフレッシュできる工夫がなされていました。これらを見ると、住宅寿命二十六年という今の日本の常識は、国際的にも歴史的にも非常識と言わざるを得ません。



住宅の先進都市「神戸」

震災で傷んだ異人館の多くは、たくさんの方の希望と善意により補修というスタイルで甦りました。その美しい姿は、当時の異人さん達の暮らし振り、すなわち日本の材料と技術で実現された西洋式の生活様式を今に伝えています。当時国内外の優れた材

料、情報、技術が集まり、神戸は近代日本の住文化の発信基地となりました。震災を経験した今、神戸は家の大切さ（物理的な面でも経済的な面でも）を一番良く知っています。あらためて新しい日本の住まい方が神戸で育まれ、全国に発信されていくのではないのでしょうか。

神戸流リモデリングのお勧め

アメリカでは、増改築や改装のことをリフォームと呼び「リモデリング」と言います。

これには単に悪いところを修繕したり、汚れた部分をきれいにし直すというリニューアルを越え、長持ちさせるところを大切にしながら、自分たち家族の生き方に合わせて住まいのスタイルを変化させていくという意識が込められています。

神戸ほど古い街並みに新しい文化が美しく融合した都市はありません。これまで私たちが抱いていた（リフォームⅡ営繕）という常識から一歩踏みだし、古き良き部分は活かしながら新しいライフスタイルにあわせて住まいをつくる、すなわちリモデリングこそが最も「神戸流」の住まいづくりという気がします。



HDC リフォームセンター
TEL 078-366-2760

リフォームを知って
もらうために作りました

REMODELING

CASE
Cost Amenity Space Ecology

本格的なリフォームのモデルルーム
増改築・マンションリフォームの設計・施工承ります



〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-2-2

リモデリングのモデルルームが神戸にあった。

REMODELING CASE 誌上訪問

リモデリングが一目で分かる

JR神戸駅前にある住まいのデパートメントHDC神戸の7階に、リモデリングの本格的なモデルルームがありました。

ファミリータイプの「Fモデル」と、単身女性をイメージした「Sモデル」の二つのタイプ。どちらも実際のリフォームの姿を想定した本格的なフルモデルで、リモデリングでどこまで出来るのか、実際に眼で見触れて確かめることが出来ます。



Sモデル。座面を上げた和室スペースは洋風の空間にもよく馴染む。



Fモデルのキッチン。リビングと一体化した開放的なレイアウト。



珪藻土、杉材など天然素材でコーディネートされた相談サロン。



桐床で仕上げられたFモデルのリビング・ダイニング。

天然素材を活かしたリモデリング

Fモデル、Sモデルとも素材は天然素材にこだわっています。床材には桐を採用。冬場は床暖房のような暖かみを感じるとのこと。クロスは紙や繊維系の材料を使い、カーベットも天然ウールのものを敷くなど、呼吸する材料にこだわっています。

また相談サロンには、呼吸性の高い建材として注目を集めている「珪藻土」が塗られ、腰壁は奈良県吉野杉のムク材が張られています。

リモデリングのアイデアが満載

畳面を上げその下を収納にした和室空間や、暮らす人の生活動線から考えられた間取りレイアウトなど、これからリモデリングを考えようという人の参考になるアイデアがちりばめられています。細かなところを見ていくと「このアイデアはうちでも使える」「自分の家でやるにはどうしたいのだろう」など、リフォームの具体的なイメージがどんどん膨みます。今までどうやってリフォームをすればよいのか分からなかった人も、ここで相談すれば自分の夢が実現できる。そんなモデルルームです。

カーテン・照明のアウトレットも併設

更に魅力的なのは、カーテンが市価の95%割引、照明が70%~50%割引という信じられない価格で購入できるインテリア・アウトレットが併設されていること。通常は市場に出ないアウトレット商品が独自の調達ルートによりこの店頭に集まっています。輸入品や高級品など通常では得難い商品がリーズナブルな価格で入手できます。カーテンはおよそ八百点、照明は約五十点を常時展示。この度イギリスの高級ブランド「nouveau」など新柄が大量に入荷。色柄、質とも更に充実したようです。



Fモデル：88.7m²
工事費用 約1,080万円

HDC神戸7階

ハーバーランド内
JR神戸駅南口徒歩1分
高速神戸駅より徒歩5分

営業時間：AM10:00~PM7:00

休館日：毎週水曜日

ホームページ
<http://www.rd-c.co.jp/>

新しい商品が増えました
神戸のインテリアアウトレット

INTERIOR OUTLET

カーテン生地 95~50%OFF
照明器具 70~50%OFF



HDCインテリアセンター
TEL 078-366-2745

新しい時代に対応する 公社を目指して



中尾清二

〔兵庫県住宅供給公社理事長〕

兵庫県住宅供給公社は、創立以来30有余年、兵庫県の住宅政策の一翼を担う公的機関として、良質な住宅供給や市街地再開発事業等の都市整備事業を展開し、県民の住生活の向上に大きな役割を果たしてまいりました。さらには阪神・淡路大震災後においては、被災マンション再建支援事業をはじめとする1万戸の復興住宅の供給に総力を上げて取り組み、兵庫県が進めてきた「すまいの復興」に貢献してきました。

21世紀を間近に迎えた今日、住宅供給を取り巻く状況も大きく変化し、時代の潮流である少子・高齢化や高度情報化、国際化、環境問題等に対応したまちづくりが求められており、公社が持つ住宅及びまちづくりに関するノウハウをいかに活用するかが重要となっております。

平成11年度は、こうした公社を取り巻く社会経済状況の変化の中で、公社のノウハウを活かし、将来を見据えた新たな事業分野の開拓と健全な公社運営が必要不可欠であるとの認識の下、「公社事業再構築元年」と位置づけて事業に取り組むこととしております。

このような考え方のもとに事業の展開としては、①保険・医療・福祉等と連携した少子・高齢社会に対応するすまい・まちづくり事業、②老朽化や狭小なマンション、劣悪な市街地など過去からのストックの新しい時代に適応する再構築事業、③土地の保有から利用に向けた、県民にとって比較的少ない負担でより質の高い住宅が確保できる定期借地権付き住宅供給事業、④行政との連携による住宅市場の補完、誘導事業など県市町の政策的要請や社会

的要請に応える政策志向型事業に積極的に取り組み、成熟社会に対応する災害に強いまち・すまいづくりを進めることとしております。

今後とも、公社を取り巻く状況、まち・すまいづくりの政策課題を踏まえながら、公社として果たすべき役割と責務を真摯に受け止め、震災によって得た教訓を次世代に伝えるためにも、

生活者の視点に立った安全・安心のまちづくり、人間サイズのまちづくりの推進に一層努力してまいる所存ですので、皆様の格別のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

■兵庫県住宅供給公社

神戸市中央区下山手通4・18・2
TEL 078・232・9511



立花南第二地第一種市街地再開発事業（組合施工参画）

住まい手が主役



建築家 瀬戸本 淳

〈建築家協会 JIA 兵庫会長
兵庫県建築設計管理協会会長〉



「水辺の提案」

神戸を良い街にしていくなためには、思いきりすごいイメージを描くことが大切です。

最高の道は、神戸が世界最高の街だと思ひ描くことです。山と海、両方の資産をもっている街は、世界でも希少価値です。

生きる人間の姿ひとりひとりに、街を構成する建築や小コミュニティに、まるでモザイク画のテセラのようにスポットライトを当ててみると、新たな神戸には、生きるに値する時間、空間にあふれており、出来事、物語にあふれています。

社会が幸福になれる道は？ 人生とは？ その目的とは？ 個人の歴史を大切に作る集合体としての未来の神戸を、みんなで考えていくと、清浄寂光に満ちた世界、輝き響く無限のバイブレーションに満ちた世界があらわれ、あらゆるものが知性と芸術に染まっています。

こんなものが世の中にあつたのかというものをぜひ次代の子供達にも見せたいものです。

美しい街におしゃれしてそぞろ歩きを楽しむ風景や、池、川、せせらぎ、緑、花など自然にあふれた公園でジョギングや散歩、ゆったりとした時間を過ごす姿が見えてきます。

すてきな街をつくっていくことは、そんなにむづかしいことではないと思ひ込むのです。

みんなで「この街を良くする会」をつくり、ポイントを押さえて定期的に市を立てたり、まちづくり酒場でみんなでワイワイやります。働く場、人だまり、音楽芸能スポット、食の工房、お祭り広場、くらしを彩る自然などについて語り合います。

できれば電柱と、きたない看板はなくしたい。

町をささえてくれる人を探すと同時に、自分達の身の回りのことは自分達の責任でやっていきます。参加は自由平等を目指し、やり得る能力のある人がどんどんやっていきます。

おとなしい人も、生きるよりどころになる場、自分を発表できる場を望んでいるかも知れません。

自分らしさ、持ち味を生かした、地域で活躍できる場、それがすばらしいのです。生きた知恵の交流の場は、分野を越えた「新たな知」の創造のための発信の場になっていくでしょう。

公的セクター、行政はぜひ参加を呼びかけ、資金のこと、道や品質面での役割分担をします。民間と行政の完全なるパートナーシップです。

歴史の有効な活用、臨海部、兵庫運

河などのストックの整備にはミュージアム、アミューズメント、グルメタウン、工場テーマパークなど今までにないモデルを提示して、企業も、街も活性化してゆきます。

社会資産の証券化とか、民間資金の活用が整備されつつあるので、新しい手法が大いに発揮されるでしょう。

必要な時に必要なサービスを受けることができる社会サービス施設も充実し、省エネ、省資源、エコロジー、脱モータリゼーション、バリアフリー等、子供からお年寄りまで楽しく生きることができ、生活サイクル循環社会が、できあがっていきます。

こうして、遊びに来た人は何日も楽しく過ごせ、そこで生まれた人は一生をそこで終えることができるすばらしいまちができあがります。

そして、それをやりとげた主役は「住まい手のみんな」なのです。

100人メンバーで構成されている兵庫の建築家協会と50社の兵庫県建築設計管理協会の建築家達も我が身を街に捧げたいと考えています。

■ JIA兵庫／兵庫県建築設計管理協会
神戸市中央区下山手通5・5・16・401
TEL078・371・0833

神戸に住むなら…ぜひ、海が見えるマンションに！

青い空、青い海。潮の香りと光に満ちた空間。
魅力いっぱい『垂水』駅前に、また一つ新しい『すまいの顔』が生まれます。

一日の乗降客が約十万人。神戸でも有数のターミナル駅である垂水駅では、神戸市の「市街地再開発事業」が着々と進行中。ターミナル機能の充実、既存商業の高度化、居住環境の整備など、魅力あるまち・垂水として生まれ変わること多くの期待が集まっている。

垂水の玄関口、垂水駅前北側は、東地区・西地区・中央地区と三つのエリアで構成される。

今回なかでも注目したいのは、東地区および西地区に誕生する神戸市住宅供給公社分譲マンション『レバンテ垂水1番館』と『ウエステ垂水』。いずれも瀬戸内海が目の前に広がるロケーションに位置し、抜群の眺望を誇る。

この二つのマンションの分譲受付が、今秋よりいよいよスタートする。まずは、魅力いっぱい、すばらしい『垂水の新しい顔』を紹介しよう。

くらしのオアシス館

『レバンテ垂水1番館』

●コワーキングが地下1階に

東地区では、都市生活の利便性の向上とともに、くらしに潤いを与える「オアシス」として、『レバンテ垂水1番館』が誕生する。

館内地下1階には日常の買い回り品を中心としたコワーキング、1階には、すし屋、カフェなどの飲食店ほか、ブティックなど各種専門店、アミューズメント施設など多様なコミュニケーション空間をもつ商業施設が予定。

●医療施設やフィットネスも

眼科、耳鼻科、歯科、小児科をはじめとする二階のクリニックゾーン、そして三階には25m温水プールが完備されたフィットネスクラブがスタンバイ。健やかなライフスタイルを応援してくれる。

●住宅用フロアは四階から十五階

2LDKから4LDKまで10タイプの間取りは、和室以外は全てフローリング。バリアフリー対応などいづれも高水準・高規格型の人への優しさをこめた設計になっている。

レバンテ垂水1番館



完成予想図（色彩等につきましては、実際と異なる場合がございます）

- ◇分譲戸数…97戸
- ◇間取り…2LDK(67.59㎡)～4LDK(96.20㎡)
- ◇分譲開始…平成11年11月中旬予定
- ◇入居予定時期…平成12年3月
- ※商業施設は、平成12年3月中旬オープン予定

ウエステ垂水

- ◇分譲戸数…64戸
- ◇間取り…2DK(60.44㎡)～3LDK(80.79㎡)
- ◇分譲開始…平成11年10月下旬予定
- ◇入居予定時期…平成11年12月
- ※商業施設は、平成11年11月中旬オープン予定



完成予想図(色彩等につきましては、実際と異なる場合がございます)

さらなるステップアップ
『ウエステ垂水』

●いよいよランドオープン

西地区では平成8年にオープンした『ウエステ垂水』A工区に引き続き、B工区が完成。

店舗、事務所、住宅、駐車場などが拡充され、一体のビルとしてより充実した内容に変身をとげる。

●毎日の生活に彩りをプラス

目玉は、A工区にある地下二階～三階のジャスコの売場が、B工区の二階に拡大されること。

物販サービスなどの専門店に加え、B工区では、ファッション、生活雑貨、飲食などの専門店も充実。中央の吹き抜けホールを中心に回遊できるショッピングゾーンが、豊かなシティライフをバックアップしてくれる。

●B工区の住宅用フロア

は、三階から十一階まで。3LDKタイプを中心に2LDK、3DKなどが用意され、バラエティーに富んだ、安全で快適な住まいづくりになっている。また南向き配置が中心なので、バルコニーはワイド設計。四階には、すでに屋上庭園が配置されており、ゆとりのある生活が存分に楽しめる。

●駅前広場も整備

ビル完成後は、東地区、西地区の駅前広場も順次整備される予定。バスターミナルやタクシー乗り場など、快適で便利な交通アクセス環境が整い始める。

垂水駅前の好立地／三宮まで約20分、大阪方面へも約1時間の通勤圏

■ウエステ垂水A工区(平成8年オープン) ■ウエステ垂水B工区



●レバンテ垂水2・3番館(平成3年オープン)
区役所、保健所、図書館など行政文化施設も充実
●レバンテ垂水1番館

マリニピア神戸のショッピングモール「ボルトバザール」

住宅に関する
詳しい
お問い合わせは

神戸市住宅供給公社

神戸市中央区三宮町1丁目9番1・1201号
(三宮センタープラザビル12階)

分譲住宅課
TEL. 078-332-0843

Shin Nagata

ひろがる夢にたしかかな道を

全戸金融公庫融資付



ピフレ
SHIN-NAGATA

今日からわが家は、
駅まで徒歩1分の快適ライフ

JR「新長田」駅まで徒歩わずか1分、新長田の新しい暮らしのシンボル「ピフレ新長田」。
駅前は百貨店、商店街が集まるまさに快適生活ゾーン。地上27階建の高層階は、眺望も自慢の我が家です。
三ノ宮・大阪へのアクセスももちろん快適。新しい「ステーション・フロント」の暮らしをはじめませんか。
今日からわが家は、駅まで徒歩1分の快適ライフ。



ピフレ新長田外観
(平成10年10月撮影)

神戸市公社の分譲マンション

「ピフレ新長田」

先着順にて申込受付中！

今すぐ入居できます

阪神・淡路大震災被災者には利子補給制度（10年間）あり
公庫低金利の今がチャンス!!

分譲予定価額（消費税相当額含む）

3,537^(2戸)円 ~ 3,875^(1戸)円

2LDK ●専有面積/75.54㎡ ●バルコニー面積/約12㎡ **4LDK** ●専有面積/94.99㎡ ●バルコニー面積/約36㎡

■最多販売価格帯・・・3,500万円台（11戸）
■公庫基本融資額・・・2,820万円～3,100万円

※住宅見学をご希望の方は下記にお電話ください
※先着順受付につき、売却済の住戸が発生する場合があります。

駅まで徒歩1分!

三宮へ9分、大阪へ29分の好ポジション
(乗り換え時間は含みません。)



■ピフレ新長田概要
●名称/ピフレ新長田 ●所在地/神戸市長田区若杉町4丁目9番地 ●交通/JR神戸線「新長田」駅下車徒歩約1分 ●地域・地区/商業地域、高度利用地区、防火地域 ●地目/宅地 ●建ぺい率/100% ●容積率/700% ●敷地面積/3,869.90㎡ (店舗・施設部分含む) ●建築面積/3,350.88㎡ (店舗・施設部分含む) ●建築延床面積/30,810.37㎡ (店舗・施設部分含む) ●構造・規模/鉄骨鉄筋コンクリート造 地上27階 地下2階建て ●住宅建設戸数/142戸 (公社分譲住宅93戸、権利者住宅49戸) ●住居専有面積/73.97㎡~94.99㎡ ●専有戸数/16戸 ●間取り/2LDK・10戸、3LDK・2戸、4LDK・4戸 ●バルコニー面積/約12㎡~約36㎡ ●機械式立体駐車場 (近隣権利者が所有・管理・運営) /80台 (月額29,800円) ●自転車置場/142台 ●分譲後の敷地の権利形態/権利交換計画に基づく持分比率による共有 ●分譲後の建物の権利形態/専有部分は区分所有、共有部分は権利交換計画に基づく持分比率による共有 ●建物完成/平成10年8月 ●入居/即入居可 ●管理組合費 (修繕積立金含む) /月額約21,694円~28,116円 ●広告有効期限/平成11年8月31日

ふれあいの街 安心できる住まい
神戸市住宅供給公社

詳しいお問い合わせは 分譲住宅課 ミミニオハヨーサン
078-332-0843

〒650-0021 神戸市中央区三宮町1丁目9番1-1201号 (三宮センタープラザビル12階) インターネットホームページアドレス <http://www.kobe-jk.or.jp/> (定休日/毎週土・日・祝)